



# 第86期事業報告書

平成14年4月1日から平成15年3月31日まで

—株主の皆さまへ—

*Human & Freedom*



## 株主の皆さまへ

当社は平成15年3月3日、東京証券取引所の市場第一部銘柄に指定されました。これも皆さまの暖かいご支援の賜物と深く感謝しております。

そのような年に終了した第86期は、当社が真の意味でのグループ経営を前面に出した第7次中期3ヵ年経営計画の初年度でもありました。

また、当社にとって創業75周年を迎えた年であり、待望の女性用ヘアカラーへ参入するなど、記念すべき年でありました。



取締役社長（代表取締役） 西村 元延

### Question 1

#### 第86期の業績(単体)はいかがでしたか？

(平成15年3月期)

当期の売上高は前期より6.9%増加して335億44百万円、経常利益は前期より29.9%増加して47億67百万円となりました。また、当期純利益も前期より25.9%増加し25億57百万円となり、過去最高売上、最高益を達成する

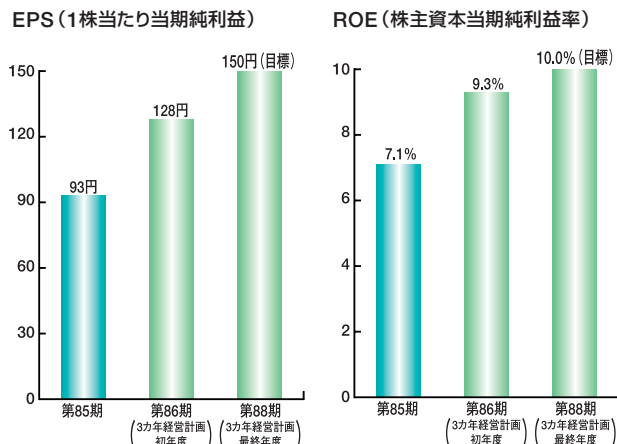
ことができました。厳しい事業環境の中で売上の伸び率以上に利益の伸び率を高くすることができたのは、グループ内製化率向上による原価率の低減、返品率の低減、平均出荷単価の下げ止まり等が挙げられます。国内売上高は、主力ブランド「ギャツビー」商品が好調だったのに加えて、今年2月に「ルシード エル」ブランドから発売した女性用ヘアカラーシリーズ等が貢献し、310億59百万円と前期より5.8%増加しました。海外への販売概況につきましては、「ギャツビー」ブランドを中心にアジア各国で売上増となり、完成品輸出が好調な業績をおさめた結果、海外売上高は24億84百万円と前期より22.3%増加しました。

## Question 2 中期経営計画の進捗状況について お聞かせください。

第86期は「成長性重視」をテーマとする第7次中期3カ年経営計画の初年度として、国内・海外を含め、ほぼ目標を達成することができました。これは「ギャツビー」「ルシード エル」「ヘアカラー」という3つの戦略事業単位の強化お

よび「アジア」への事業展開の重点化をはかった結果であると思います。「ギャツビー」のアジア市場における水平展開の本格的なスタートとして、タイ、香港および韓国においてプロモーションやイベントを実施し、アジアにおける認知率向上をはかりました。

### 中期3カ年経営計画の経営指標



(注) EPS=(当期純利益-利益処分による役員賞与金)/期中平均株式数  
EPSは当期より上記により算定しておりますが、目標数値は従来方法による算定値(役員賞与金控除前の当期純利益)であります。  
ROE=当期純利益/(期首資本の部合計(新株式払込金を除く)+期末資本の部合計(新株式払込金を除く))/2

### Question 3

## 今年参入した女性用ヘアカラーシリーズが好調と聞いていますが？

当社では平成13年の春に「ギャツビー」から男性用ヘアカラーシリーズを発売し、今や主力商品の1つとなっております。また、平成15年2月には中期3ヵ年経営計画における重点政策の1つである「ヘアカラー」カテゴリ強化の一環として「ルシード エル」ブランドからも女性用ヘアカラーシリーズを発売しました。

市場参入に際しては「色」と「質感」をキーワードに、新イメージキャラクターに安室奈美恵を起用し、総合的な市場導入活動を展開した結果、躍動感あふれるCMも功を奏し順調な滑り出しとなっております。

### Question 4

## 最近重要視されている経営管理体制の強化としてどのような施策を講じていますか？

当社は早くから社外取締役制度の導入や社外監査役制度

の導入をはじめ、執行役員制度の導入など経営管理体制の強化に努めてきました。業績が順調な時こそ組織内部管理体制の充実をはかるべきと考え、従来からの社員考働規範制度に加え、倫理的な問題点をすくい上げて会社全体で解決するための社内制度として「ヘルプラインシステム」を導入し、社員のコンプライアンスに対する意識のさらなる向上をはかっています。また、グループトータルでの人材育成、経営管理体制(コンプライアンス)強化にも力を注いでいます。海外での事業展開を進めていく中では、グローバルな人材交流・人材育成が不可欠であることから、海外現地社員の日本での教育やグローバルな人事評価制度の導入をスタートさせました。

### Question 5

## 公募増資をした理由を説明してください。

平成15年3月に公募増資を行い、165万株を新たに発行し32億81百万円調達いたしました。

今回の増資で得た資金は生産能力増強および基盤研究・開発研究の増強と効率を目的とした設備投資資金に充当

する予定です。

今回の資金使途の主たる部分が研究施設という、いわば将来の収益基盤を目的としたもので投資後直ちに直接利益が見込まれるものではありません。そこで「長期資金は長期調達」の方針から資本市場での調達を選択いたしました。

### Question 6

## 今後のグループ事業展開方針について教えてください。

前期からスタートした第7次中期3ヵ年経営計画を継承し引き続き「ギャツビー」「ルシード エル」「ヘアカラー」という3つの戦略事業単位を軸に事業規模の拡大をはかり、アジア各国での海外事業の展開を強化していきます。来期においても、アジア各国でのブランドマーケティングを強化にバックアップし、グループ全体としてさらなる売上・利益の増大を達成したいと思っています。

また、経営方針としては、経営資源の強化と有効活用、リスクマネジメントおよびコーポレートガバナンスの強化を一層進め、よき企業市民としての責任を果たすとともに、

株主の皆さまに対してのさらなる貢献ができるよう邁進していきたいと考えています。

### 中期3ヵ年経営計画の事業展開方針

戦略事業単位	事業展開方針
ギャツビー	当社の最重点ブランドとしてアジア全域に対し、積極的な事業展開をはかる
ルシード エル	女性用トータルヘアメイクブランドの事業基盤確立に向け、日本のみならずアジアでの展開を強化する
ヘアカラー	成長カテゴリーへの積極的な取り組みを通じて、グループ事業の成長と規模の拡大をはかる



取締役社長（代表取締役）西村 元延

## FOCUS



# LUCIDO-L

## 「プリズムマジックヘアカラーシリーズ」 誕生ストーリー

### 永年にわたり成長し続ける ヘアカラーカテゴリー

現在、日本の化粧品市場において、1000億円以上の市場を形成するカテゴリーは、染毛剤、化粧水、美容液、ファンデーションの4つしかなく、その中で染毛剤は、伸び続けている数少ないカテゴリーの1つです。今ではヘアカラーはブームや流行ではなく幅広い生活者が使用する商品として定着しています。使用率が拡大するにつれて生活者からさまざまなウォンツが生まれ、単に染毛するだけでなく、新しい機能が次々と求められるようになっていきます。ここに当社は注目いたしました。

### 生活者ウォンツの徹底調査から 生まれたヘアカラー

ターゲットとする20代女性の約8割がカラーリング経験者です。現在、ヘアカラーはトータルファッションを演出する一部となっていますが、自分にあったヘアカラーがなかなか見当たらない、繰り返し使用するヘアカラーはどうしても仕上がりに満足できない等の不満をリサーチ結果から得ました。つまり「色」「質感」「仕上がりに」を求めるウォンツが強まっていたのです。

それらの生活者ウォンツを満たす商品開発がスタートし、その商品特性を表現するために、パッケージデザインにも差別化をはかり、細かな工夫がターゲット世代からの反響を呼びました。



## 新しいコンセプトを 新しいイメージキャラクターで

生活者ウォンツの徹底調査から生まれた新しいコンセプトを表現するのに最もふさわしいイメージキャラクターが新たに必要になりました。

現在のようにヘアカラーリングを一般化させ、女性の間に着化させるキッカケを創ったのは、他ならぬヘアカラー旋風を巻き起こし「アムラー現象」とまで言われた安室奈美恵です。

記者会見をもってデビューした安室奈美恵の話題はテレビや雑誌、新聞を通じて大きく取り上げられました。彼女は単なるファッション的な訴求ではなく、商品特徴である「色」「質感」を彼女自身がこの商品を使用することによって演出してみせたのです。

発売時には47都道府県すべてに大量のテレビスポットを流して市場導入と早期認知獲得のためバックアップを行いました。

## 成功要因は企業の総合力

マンダムグループでは従来から美容サロン流通を担当する国内子会社があり、プロユースのヘアカラーを長年に渡って開発・商品化してきた技術ノウハウの蓄積がありました。

また当社自体にも生活者ウォンツを具現化する商品開発力や、さらにその商品を市場導入するトータルマーケティング力の蓄積があり、当社の強みが最大限に発揮されたプロジェクトだったといえます。

「ルシード エル プリズムマジック ヘアカラーシリーズ」はマンダムグループの総合力から生まれた商品です。

## TOPICS

### ヘアカラーシミュレーションシステムを 共同開発

平成14年7月～

当社は、大日本印刷株式会社と共同開発で一般生活者向けにインターネット上でヘアカラーの擬似体験ができる「ヘアカラーシミュレーションシステム」を開発しました。これにより家庭で自分にあったカラーが容易に選択でき、商品を選ぶ上で大いに役立っています。このユニークなシステムはTV・新聞・雑誌等で数多く取り上げられました。

(平成14年7月より当社ホームページのギャツビーサイトで公開しています。)



### ブランド認知率向上を目指した海外展開



## タイ

平成14年5月

当社は、平成14年5月タイのショッピングセンター「サイアムスクエア」での「ルシード エルデビューイベント」を皮切りに、香港および韓国そしてタイと順次、「ギャツビー」「ルシード エル」ブランドの認知率向上に向けた大規模な宣伝広告活動を展開いたしました。

## 香港

平成14年7月





## 「ルシード エル」から、髪の色・質感を着替えて楽しむ ヘアカラーシリーズ発売 平成15年2月

当社では、「ルシード エル」から、思い通りの「色」と「質感」の髪色を実感できる「プリズムマジックヘアカラー」8色と、ツヤ感を与えながらナチュラルな色に髪色を戻す「髪の色もどし」4アイテムを平成15年2月に発売しました。当シリーズのCMにはターゲット世代からの認知率と好感度が高い安室奈美恵を起用し、ヘアカラーの美しい仕上がりとともに広告宣伝でも注目を集めています。



## 東証市場第一部に指定 平成15年3月

東京証券取引所市場第二部上場の当社は、平成15年3月3日に第一部銘柄へ指定されました。株主の皆さま、お客さま、お取引先さま、そして従業員の方々に支えられて厳しい経営環境の中で着実に事業運営を遂行してきた成果だと考えております。従来にも増して生活者ウォンツの商品化に努めるとともに、品質・環境重視の経営を推進し、生活者の皆さま方に信頼される良き企業市民として健全な発展を通じて企業価値を高めてまいります。

## 公募増資を実施 平成15年3月

平成15年3月、当社は公募によって普通株式165万株の新株を発行し、32億81百万円を調達いたしました。その主な使途は研究開発体制の強化(基盤研究所・開発研究所建設)および生産能力の増強に充当を予定しております。本投資により、商品開発期間の短縮化等、商品開発面における市場優位性強化のみでなく、素材開発・新技術開発体制を整備させることで中長期的な成長基盤の確保も見込んでおります。

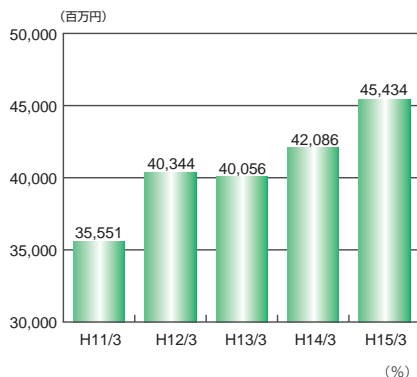
## 「ギャツビーヘアカラーシリーズ」リニューアル 平成15年3月

平成13年の発売以来業績好調の、「ギャツビーヘアカラーシリーズ」が、平成15年3月生活者ウォンツの変化に対応するためカラーバリエーションの充実、パッケージ変更、機能性の向上など全面的なリニューアルを実施し、さらなる強化をはかりました。



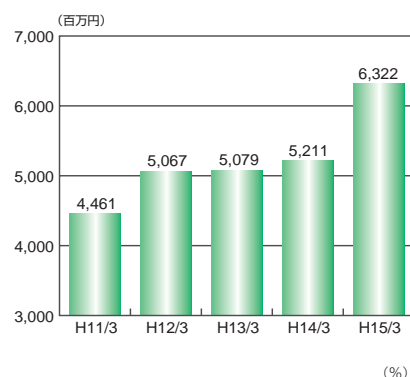
## 財務ハイライト [連結]

### ■売上高



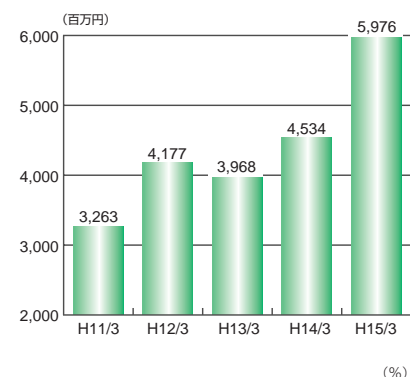
	H11/3	H12/3	H13/3	H14/3	H15/3
増減率	3.2	13.5	△ 0.7	5.1	8.0

### ■営業利益



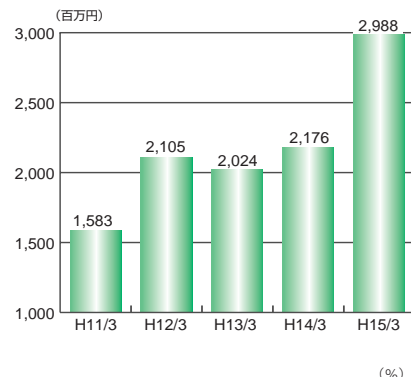
	H11/3	H12/3	H13/3	H14/3	H15/3
増減率	15.1	13.6	0.2	2.6	21.3

### ■経常利益



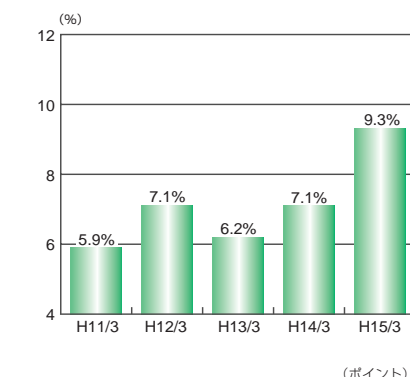
	H11/3	H12/3	H13/3	H14/3	H15/3
増減率	20.6	28.0	△ 5.0	14.3	31.8

### ■当期純利益



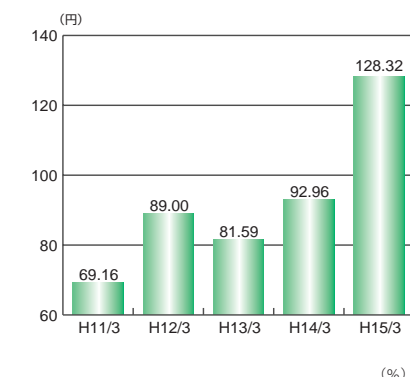
	H11/3	H12/3	H13/3	H14/3	H15/3
増減率	35.8	33.0	△ 3.8	7.5	37.3

### ■株主資本当期純利益率 (ROE)



	H11/3	H12/3	H13/3	H14/3	H15/3
前年比	1.6	1.2	△ 0.9	0.9	2.2

### ■1株当たり当期純利益 (EPS)



	H11/3	H12/3	H13/3	H14/3	H15/3
増減率	41.8	28.7	△ 8.3	13.9	38.0

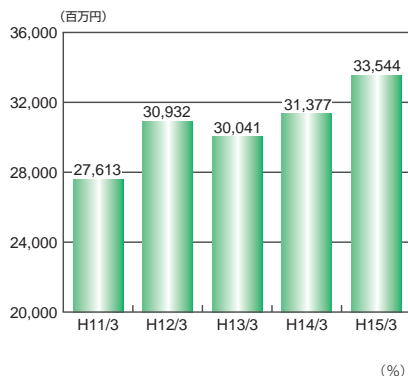
(注) ROE=当期純利益/(期首資本の部合計(新株式払込金を除く)+期末資本の部合計(新株式払込金を除く)) / 2

EPS=(当期純利益-利益処分による役員賞与金)/期中平均株式数

EPSは当期より上記により算定しております。

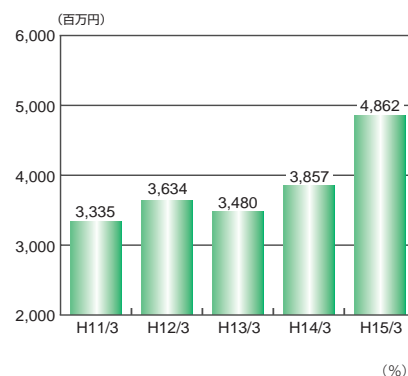
## 財務ハイライト[単体]

### ■売上高



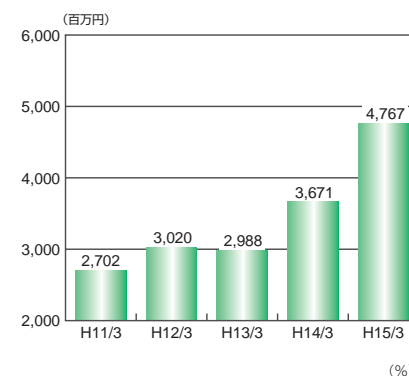
	H11/3	H12/3	H13/3	H14/3	H15/3
増減率	1.3	12.0	△ 2.9	4.4	6.9

### ■営業利益



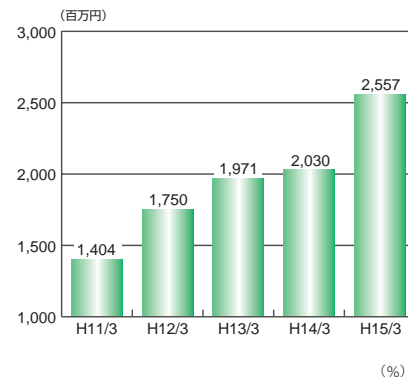
	H11/3	H12/3	H13/3	H14/3	H15/3
増減率	16.0	8.9	△ 4.2	10.8	26.0

### ■経常利益



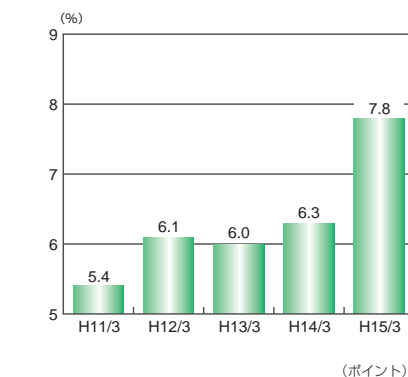
	H11/3	H12/3	H13/3	H14/3	H15/3
増減率	△ 1.4	11.8	△ 1.1	22.9	29.9

### ■当期純利益



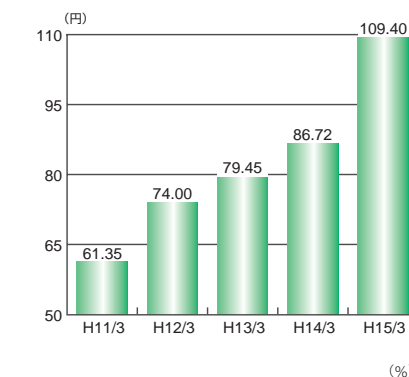
	H11/3	H12/3	H13/3	H14/3	H15/3
増減率	1.5	24.7	12.6	3.0	25.9

### ■株主資本当期純利益 (ROE)



	H11/3	H12/3	H13/3	H14/3	H15/3
前年比	0.1	0.7	△ 0.1	0.3	1.5

### ■1株当たり当期純利益 (EPS)



	H11/3	H12/3	H13/3	H14/3	H15/3
増減率	6.0	20.6	7.4	9.2	26.2

(注) ROE=当期純利益/(期首資本の部合計(新株式払込金を除く)+期末資本の部合計(新株式払込金を除く)) / 2

EPS=(当期純利益-利益処分による役員賞与金)/期中平均株式数

EPSは当期より上記により算定しております。

## 財務諸表[連結]

### 貸借対照表(単位:百万円)

科目	期別	
	当期 平成15年3月31日現在	前期 平成14年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	22,442	16,533
① 現金及び預金	5,540	4,608
受取手形及び売掛金	5,479	5,450
① 有価証券	5,199	693
たな卸資産	5,047	4,635
繰延税金資産	500	386
その他	744	826
貸倒引当金	△68	△68
固定資産	21,425	22,079
有形固定資産	13,345	13,861
建物及び構築物	8,523	9,024
機械装置	2,349	2,230
② 土地	1,567	1,806
その他	904	800
無形固定資産	496	554
投資その他の資産	7,583	7,664
③ 資産合計	43,868	38,613

科目	期別	
	当期 平成15年3月31日現在	前期 平成14年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,966	6,440
④ 支払手形及び買入金	1,070	1,029
短期借入金	-	390
借入金	4,895	5,020
固定負債	1,574	1,480
繰延税金負債	19	19
退職給付引当金	376	530
その他負債	1,178	930
負債合計	7,540	7,921
少数株主持分	1,613	1,315
<b>資本の部</b>		
資本金	-	9,753
資本準備金	-	9,595
連結剰余金	-	12,608
その他有価証券評価差額金	-	56
為替換算調整勘定	-	△2,633
自己株式	-	△2
資本合計	-	29,376
⑤ 資本金	11,394	-
資本剰余金	11,235	-
利益剰余金	14,619	-
その他有価証券評価差額金	△20	-
為替換算調整勘定	△2,495	-
自己株式	△19	-
③ 資本合計	34,714	-
③ 負債、少数株主持分及び資本合計	43,868	38,613

●POINT① 期間利益及び公募増資資金により手元流動性が増加しました。(有価証券は主として現金同等物であります。)

●POINT② 遊休土地の評価損を計上しました。

●POINT③ 資産合計の増加は流動資産(主として現金及び預金、有価証券)の増加によるものであり、負債、少数株主持分及び資本合計の増加は資本合計の増加によるものであります。

●POINT④ 海外子会社における借入金を返済しました。

●POINT⑤ 当期純利益の大幅増加と公募増資により前期末から53億37百万円増加しました。

## ■損益計算書(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
6 売上高		45,434	42,086
7 売上原価		18,844	18,834
7 売上総利益		26,590	23,251
8 販売費及び一般管理費		20,267	18,040
営業利益		6,322	5,211
営業外収益		550	552
営業外費用		896	1,229
経常利益		5,976	4,534
9 特別利益		774	3
10 特別損失		1,014	308
税金等調整前当期純利益		5,736	4,229
法人税、住民税及び事業税		2,725	2,112
法人税等調整額		△280	△283
少数株主利益		303	223
当期純利益		2,988	2,176

●POINT 6 国内外とも頭髪用化粧品を中心に主力ブランド「ギャツビー」が好調に売上を伸ばすとともに女性用ブランド「ルシード エル」も大幅拡大、海外事業(東南アジア)の成長持続で最高売上高を2期連続で更新しました。

●POINT 7 増収効果に加え、国内事業における返品率の低下、グループ内の内製化進展、数量効果によるコストダウンで原価率を飛躍的に低下させることができました。

●POINT 8 主として販売費(販売促進費・広告宣伝費)の積極的投下により増加しております。

●POINT 9 株式売却益及び海外における災害保険金収入であります。

●POINT 10 株式売却損、土地評価損及び海外における災害損失(水害)によるものであります。

## ■剰余金計算書(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
連結剰余金期首残高		-	14,836
連結剰余金減少高		-	4,405
配当金		-	871
役員賞与		-	59
利益による自己株式消却額		-	3,474
当期純利益		-	2,176
連結剰余金期末残高		-	12,608
資本剰余金の部			
資本剰余金期首残高		9,595	-
資本準備金期首残高		9,595	-
資本剰余金増加高		1,640	-
増資による新株の発行		1,640	-
資本剰余金期末残高		11,235	-
利益剰余金の部			
利益剰余金期首残高		12,608	-
連結剰余金期首残高		12,608	-
利益剰余金増加高		2,988	-
当期純利益		2,988	-
利益剰余金減少高		976	-
配当金		899	-
役員賞与		77	-
利益剰余金期末残高		14,619	-

## ■キャッシュフロー計算書(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
営業活動によるキャッシュフロー		5,466	6,043
投資活動によるキャッシュフロー		△3,194	△2,785
財務活動によるキャッシュフロー		1,845	△4,546
現金及び現金同等物に係る換算差額		△14	28
現金及び現金同等物の増加(減少)額		4,103	△1,260
現金及び現金同等物の期首残高		4,555	5,816
現金及び現金同等物の期末残高		8,659	4,555

## 財務諸表[単体]

### 貸借対照表(単位:百万円)

科目	期別	
	当期 平成15年3月31日現在	前期 平成14年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	17,440	12,236
現金及び預金	5,127	4,395
受取手形	16	51
売掛金	3,986	4,144
有価証券	5,199	693
たな卸資産	2,141	1,844
繰延税金資産	365	288
その他	645	867
貸倒引当金	△ 42	△ 49
固定資産	23,773	24,447
有形固定資産	10,849	11,482
建物	7,146	7,631
機械装置	1,421	1,347
土地	1,427	1,675
その他	854	828
無形固定資産	481	540
投資その他の資産	12,442	12,424
<b>資産合計</b>	<b>41,213</b>	<b>36,683</b>

科目	期別	
	当期 平成15年3月31日現在	前期 平成14年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	4,733	4,992
支払手形	320	350
買掛金	545	477
その他	3,867	4,164
固定負債	1,215	1,195
退職給付引当金	235	400
役員退職慰労引当金	680	622
その他	299	172
<b>負債合計</b>	<b>5,948</b>	<b>6,187</b>
<b>資本の部</b>		
資本金	-	9,753
資本準備金	-	9,595
利益準備金	-	562
その他	-	10,587
自己株式	-	△ 2
資本剰余金	11,394	-
利益剰余金	11,235	-
利益剰余金	12,675	-
その他	△ 20	-
自己株式	△ 19	-
<b>資本合計</b>	<b>35,264</b>	<b>30,495</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>41,213</b>	<b>36,683</b>

## ■損益計算書 (単位:百万円)

科目	期別	
	当期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	前期 平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
売上高	33,544	31,377
売上原価	13,857	13,952
売上総利益	19,686	17,425
販売費及び一般管理費	14,823	13,567
営業利益	4,862	3,857
営業外収益	741	813
営業外費用	835	999
経常利益	4,767	3,671
特別利益	250	0
特別損失	541	209
税引前当期純利益	4,476	3,463
法人税、住民税及び事業税	2,171	1,677
法人税等調整額	△ 253	△ 244
当期純利益	2,557	2,030
前期繰越利益	453	4,105
中間配当額	449	449
利益による自己株式消却額	-	3,474
当期末処分利益	2,561	2,211

## ■利益処分計算書 (単位:百万円)

科目	期別	
	当期 平成15年3月31日	前期 平成14年3月31日
当期末処分利益	2,561	2,211
固定資産圧縮記帳積立金取崩額	0	1
合計	2,561	2,213
これを次のとおり処分します。		
利益配当金	723 (1株につき30円)	449 (1株につき20円)
役員賞与金 (うち監査役賞与金)	91 (6)	74 (2)
別途積立金	1,140	1,236
次期繰越利益	605	453

## 国内グループ会社および営業拠点

国内において男性用化粧品を中心に展開しているマンダムでは、東京、大阪をはじめ全国9カ所に営業拠点を配置し、生活者の皆さまのウォンツに即応できるよう努めております。また、グループ会社においてはさまざまな女性用化粧品を取り扱っています。これらの商品はそれぞれの特性に応じた流通経路で生活者の皆さまにお届けしています。



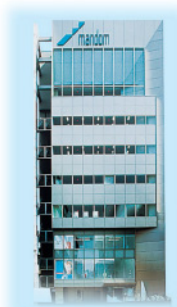
**本社ビル**  
〒540-8530  
大阪市中央区十二軒町5-12  
TEL.06-6767-5001

### ●国内営業拠点

1. 札幌営業所
2. 仙台営業所
3. 北関東営業所
4. 東京営業所
5. 南関東営業所
6. 名古屋営業所
7. 大阪営業所
8. 広島営業所
9. 福岡営業所
10. チェーンストア営業部
11. 首都圏量販課
12. 流通開発課
13. 近畿圏量販課



**マンダムグループ  
東京日本橋ビル**  
〒103-0027  
東京都中央区日本橋2-16-6  
TEL.03-5204-9083



**東京ビル**  
〒275-0023  
千葉県習志野市芝園2-6-3  
TEL.047-453-1581

### 国内グループ会社

社名	事業内容および流通形態
ピアセラボ	美容サロン流通
ミック	カウンセリング販売
エムザ	選別流通
ギノージャパン	エステサロン流通
ビューコス	化粧品の輸入・製造・販売
マンダムビジネスサービス	保険代理業務および総合ビルメンテナンス等



## 海外グループ会社および生産拠点

マンダムは業界初の海外進出を果たした企業です。現在ではインドネシアをはじめとしたアジア全域にグループ会社を展開し、海外ネットワークを広げています。また、日本・インドネシア・中国の3地域に生産拠点を展開し、アジア全域を市場としてとらえた生産体制を構築しています。



インドネシア  
(ジャカルタ・スター工場)  
—化粧品製造工場—



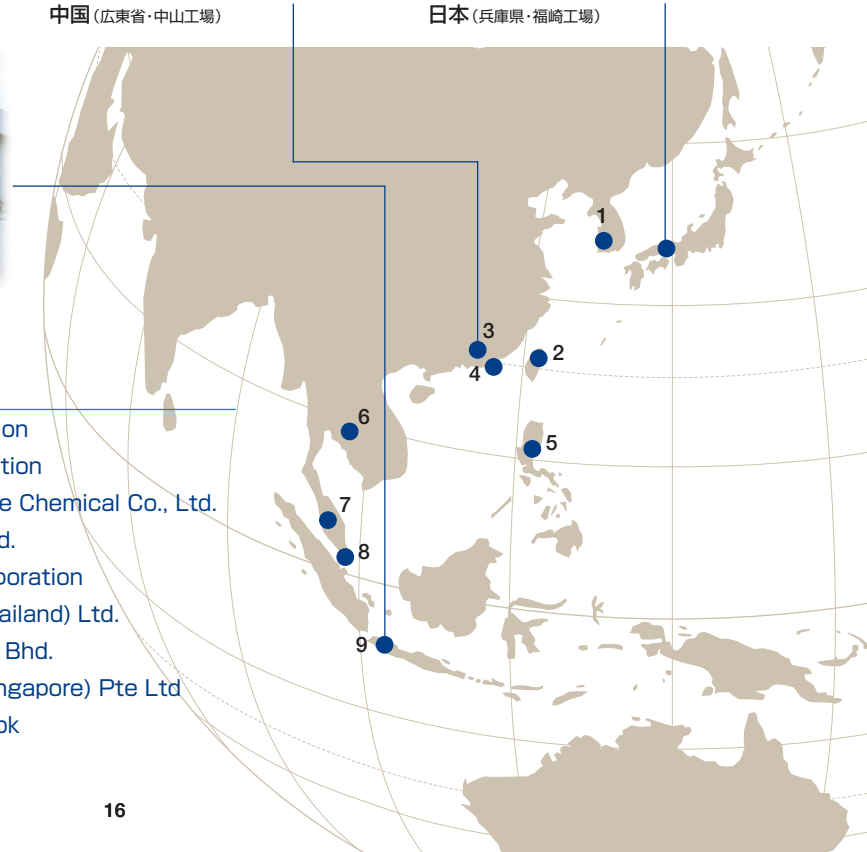
中国 (広東省・中山工場)



日本 (兵庫県・福岡工場)



インドネシア  
(プカシ・チビトン工場)  
—容器成型工場—



### 海外グループ会社

所在地	社名
1 韓国	Mandom Korea Corporation
2 台湾	Mandom Taiwan Corporation
3 中国(中山市)	Zhongshan City Rida Fine Chemical Co., Ltd.
4 中国(香港)	Sunwa Marketing Co., Ltd.
5 フィリピン	Mandom Philippines Corporation
6 タイ	Mandom Corporation (Thailand) Ltd.
7 マレーシア	Mandom (Malaysia) Sdn. Bhd.
8 シンガポール	Mandom Corporation (Singapore) Pte Ltd
9 インドネシア	PT Mandom Indonesia Tbk

## 株主メモ

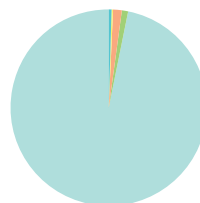
決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
権利確定日	利益配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
1単元の株式の数	100株
名義書換代理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	東京都府中市日鋼町1番10号〒183-8701 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	住所変更等用紙のご請求 ☎0120-175-417 その他のご照会 ☎0120-176-417
同取次所	住友信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞に掲載いたします。ただし、商法特例法第16条第3項に定める貸借対照表および損益計算書に係る情報は、 < <a href="http://www.mandom.co.jp">http://www.mandom.co.jp</a> >において提供しております。
株主優待	毎年3月31日現在の100株以上ご所有の株主に対し、5,000円相当の当社製品を6月初旬に贈呈します。

## 株式の状況 (平成15年3月31日現在)

■ 発行済株式の総数 24,134,606株

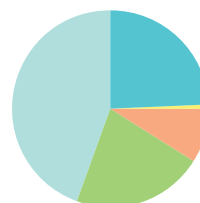
■ 株式分布状況

株主数構成比 (%)



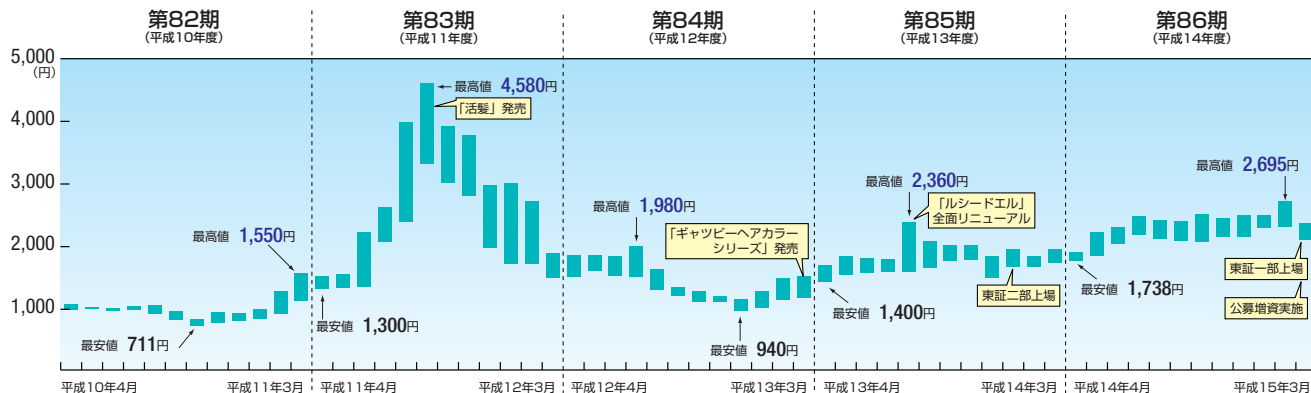
金融機関	50名	(0.46%)
証券会社	26名	(0.24%)
国内法人	157名	(1.44%)
外国法人等	113名	(1.03%)
個人その他	10,584名	(96.83%)
合計	10,930名	(100.00%)

株式数構成比 (%)



金融機関	5,866千株	(24.31%)
証券会社	168千株	(0.70%)
国内法人	2,154千株	(8.93%)
外国法人等	5,209千株	(21.58%)
個人その他	10,735千株	(44.48%)
合計	24,134千株	(100.00%)

## 株価推移



**会社概要** (平成15年3月31日現在)

社名	株式会社 マンダム
本社設立	大阪市中央区十二軒町5番12号 昭和2年12月23日
資本金	11,394,817,459円
従業員数	445名
事業内容	化粧品、香水の製造および販売 医薬部外品の製造および販売
HPアドレス	http://www.mandom.co.jp

**役員** (平成15年6月25日現在)

取締役社長 (代表取締役)	西村 元 延
取締役副社長 (代表取締役)	亀井 浩
常務取締役	西海 義勝
常務取締役	佐治 健二
常務取締役	山田 治
常務取締役	野崎 浩治
常務取締役	桃田 雅好
取締役・執行役員	中口 修一
取締役・執行役員	下 俊人
取締役・執行役員	樋口 俊男
取締役	後藤 光和
常勤監査役	谷口 義豊
常勤監査役	松山 金好
監査役	小林 貴一
監査役	小寺 貴矢
執行役員	斉藤 嘉昭
執行役員	寺林 隆一
執行役員	藤原 徳雄
執行役員	田 中 晃

(注) 執行役員の斉藤嘉昭、寺林隆一、藤原徳雄および田中晃は取締役を兼任していません。

**大株主** (平成15年3月31日現在)

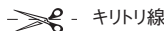
氏名又は名称	所有株式数 (千株)	所有株式数の 比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,429	5.92
西村 彦次	1,424	5.90
財団法人 西村留学生奨学財団	1,000	4.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	895	3.71
西村 輝久	821	3.40
西村 元延	760	3.15
ザバンク オブ ニューヨーク トリーティー ジャステック アカウント	664	2.75
マンダム従業員持株会	626	2.60
日本生命保険相互会社 (特別勘定年金口)	584	2.42
ザ チェース マンハッタン バンク エヌ エイ ロンドン	499	2.07

(注) 所有株式数の比率は発行済株式の総数をもとに算出してあります。

**株主の皆さまへ アンケートのお願い**

当社では、株主の皆さまの声を経営に反映させるべく、アンケートを実施させていただいております。お手数ではございますが、アンケートの質問事項をお読みいただき、回答をご記入の上、ご投函ください。皆さまのご協力をお願い申し上げます。

なお、個別のご質問にはご対応いたしかねますのでご了承ください。

**株主の皆さまへ アンケートのお願い**

1. 株式を購入される際の情報は主にどこから入手されるかお聞かせください。(複数回答可)  
1) 証券会社 2) 一般新聞・雑誌 3) 株式専門新聞・雑誌 4) インターネット・ホームページ 5) その他( )

2. 当社株式を購入された理由についてお聞かせください。(複数回答可)  
1) 安定性 2) 株価の割安感 3) 成長性 4) 親しみやすさ 5) 証券会社の勧め 6) 配当 7) 株主優待 8) 1単元が100株で投資しやすい 9) その他( )

3. 今回の事業報告書についての感想をお聞かせください。  
(該当するものを○で囲んでください)

1) 表紙デザイン 悪い 普通 悪い  
2) 内容の読みやすさ 悪い 普通 悪い  
3) 情報量 多い 普通 少ない

4. 今回の事業報告書で興味を持たれたテーマをお聞かせください。(複数回答可)  
1) 株主の皆さまへ 2) FOCUS 3) TOPICS 4) 財務ハイライト [連結]  
5) 財務ハイライト [単体] 6) 財務諸表 [連結] 7) 財務諸表 [単体]  
8) 国内グループ会社および営業拠点 9) 海外グループ会社および生産拠点  
10) 株式の状況 11) 株価推移 12) 会社概要

5. 今後、どのような情報の掲載を望まれているかお聞かせください。

( )

6. 当社に対するご意見・ご要望をお聞かせください。

( )

都道府県名

性別

年齢 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

ご協力ありがとうございました。



郵便はがき

料金受取人払



5 4 0 8 7 9 0

156

差出有効期限  
平成15年9月  
30日まで

大阪市中央区十二軒町5-12

株式会社 マンダム

広報IR室 宛

